

令和7年度 二子小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～いきいき ^{ニコニコ} 二子二子 職員室～

二子小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

〔定量的現状〕

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」
 - ・ R7年度目標 7人 (R6年度8人)
- 「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」
 - ・ R7年度目標 0人 (R6年度0人)

〔定性的現状〕

- 教職員の意識
 - ・ 負担軽減の取組が推進されているが、教職員の負担感の解消までには至っていない。
 - ・ 時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
 - ・ 早めに帰られる日の声掛けやチームとしての対応の推進に努めている。



2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する先生方のワーク・ライフ・バランスに対する意識を向上します。

<目指す姿>

- ・ 子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが行われている。
- ・ 業務改善について、教職員から積極的に提案がなされている。
- ・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
- ・ 管理職が日頃から、教職員に対しコミュニケーションを図っている。
- ・ 教職員が、業務に取り組むことができる時間を確保できている。
- ・ 教職員が、やりがいを感じながら、「チーム二子小」となって教育活動を行い、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プランの「時間外在校時間80時間以上ゼロ」の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。また、45時間以上の教職員を減らすよう努めます。
- ・ 諸問題への対応について、一人で抱え込まないように管理職が積極的にサポートに当たり、組織的に対応します。
- ・ 月の途中で月の時間外在校等時間が40時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに勤務時間の適正管理について積極的に声掛けをします。
- ・ 健康相談事業等、教職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ ワーク・ライフ・バランスの向上に向けた業務改善の取組について検討します。
- ・ ICT環境の整備を進め、業務の効率化を図ります。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定していきます。(安全衛生委員会等)
- ・ 教育活動全般において、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から業務の見直しを進めます。
- ・ 会議の進め方について、DX化、提案の効率化、事前配付による合理化を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 外部からの依頼業務について精選化・適正化を図りながら関係団体との協議を進めます。
- ・ コミュニティ・スクールを充実させ、外部講師や授業補助等必要に応じて地域の協力をいただきながら教育活動を推進します。
- ・ 教職員参加の地域行事について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、保護者、地域に理解いただけるよう周知していきます。

令和7年4月1日 二子小学校長 柴田 智子

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

- (2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕